

鷺宮 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科： 公民 科目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：

使用教科書： （ 東京書籍「政治・経済」 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間として在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	○合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。	○よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代日本の政治に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代日本の政治に関わる概念や理論などを理解するとともに、課題を意欲的に追究する。	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原理 ○ 民主政治の成立 ○ 法と民主政治 ○ 基本的人権の確立 ○ 現代の民主政治 ○ 世界のおもな政治体制 2節 日本国憲法の基本原理 ○ 日本国憲法の制定と基本原理 ○ 基本的人権の保障 ○ 平和主義	〈知識・技能〉 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 〈思考・判断・表現〉 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 〈主体的に学習に取り組む態度〉 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代日本の政治に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代日本の政治に関わる概念や理論などを理解するとともに、課題を意欲的に追究する。	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 3節 日本の政治機構 ○国会と立法 ○内閣と行政 ○裁判所と司法 ○地方自治 4節 現代政治の特質と課題 ○戦後政治と政党 ○選挙と政治意識 ○世論と政治参加	〈知識・技能〉 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 〈思考・判断・表現〉 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 〈主体的に学習に取り組む態度〉 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

2 学 期	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代日本の経済に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代日本の経済に関わる概念や理論などを理解できるようにするとともに、課題を意欲的に追究する。	第1編 現代日本の政治と経済 第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 ○経済活動の意義 ○資本主義経済の発展と変容 2節 現代経済のしくみ ○経済主体と経済の循環 ○生産のしくみと企業 ○市場経済の機能と限界 ○国民所得と経済成長 ○金融のしくみと機能 ○財政のしくみと機能	<知識・技能> ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 <思考・判断・表現> 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <主体的に学習に取り組む態度> 現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代日本の経済に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代日本の経済に関わる概念や理論などを理解できるようにするとともに、課題を意欲的に追究する。	第1編 現代日本の政治と経済 第2章 現代日本の経済 3節 日本経済の発展と現状 ○戦後日本経済の発展 ○日本経済の現状 4節 福祉社会と日本経済の課題 ○公害と環境保全 ○農業・食料問題 ○中小企業の現状と課題 ○情報化の進展と社会の変化 ○消費者問題 ○雇用と労働問題 ○社会保障と福祉	<知識・技能> ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 <思考・判断・表現> 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <主体的に学習に取り組む態度> 現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	20
3 学 期	定期考査			○	○		1
	社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本の諸課題の解決に向け、政治と経済を関連させて多面的・多角的に考察したり構想したりする活動を通して、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述し、合意形成や社会参画に向かうことができるようにする。	第3章 現代日本の諸課題 ○少子高齢社会における社会保障 ○地域社会の活性化 ○多様な働き方・生き方の実現 ○中小企業の意義と課題 ○日本の財政の健全化 ○持続可能な食料・農業の実現 ○防災と安全・安心な社会の実現	<知識・技能> 現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 <思考・判断・表現> 少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <主体的に学習に取り組む態度> 現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計 105